

会社名 ピープル株式会社

上場取引所 東 スタンダード

コード番号 7865

(https://www.people-kk.co.jp/)

代表者 取締役兼代表執行役 桐淵真人

問い合わせ先: 財務チーム 落合香菜子

TEL:03-3862-2768

◆売上高(単月) 前年対比

(金額単位:千円)

1月度(単月)	前期:2025年1月期	当期:2026年1月期	前年同月比
乳児・知育・構成玩具カテゴリ	73,995	52,806	71.4%
メイキングトイカテゴリ (注1)	2,751	938	34.1%
その他(遊具・乗り物・育児等)	3,993	1,484	37.2%
海外販売・ロイヤリティ収入	15,829	10,857	68.6%
合計	96,566	66,085	68.4%

2～1月度(累積)	前期:2025年1月期	当期:2026年1月期	前年同期間比
乳児・知育・構成玩具カテゴリ	1,503,818	1,391,470	92.5%
メイキングトイカテゴリ	49,606	11,672	23.5%
その他(遊具・乗り物・育児等)	141,821	42,041	29.6%
海外販売・ロイヤリティ収入	220,382	167,718	76.1%
合計	1,915,624	1,612,901	84.2%

(注1)ドリーミーDIYトイ「ねじハピ」シリーズは2026年1月期に製造終了いたしました。

※一部商品の製造終了に伴い、商品カテゴリの区分を見直す予定です。新たな区分は次期2027年1月期より適用いたします。

◆1月度発売新商品・リニューアル商品

商品カテゴリ名	商品名	標準小売価格(税込)
当月は新商品およびリニューアル商品の発売はありません。		

◆1月度および直近TOPIX

当月の玩具市場は、TVゲームやカードゲームが牽引し、前年を上回る一方、これらを除く純玩具市場は前年比95%という結果でした。近年の消費行動の変化により、需要がクリスマス当日から年始のアフタークリスマス商戦へと分散する傾向が顕著となっております。

TVゲームが市場を席捲する厳しい環境下ですが、当社商品は底堅い推移を見せており、流通各社からも安定した評価をいただいております。その一方で、取引先の決算に伴う仕入れ調整に加え、今春の新商品切替に向けたベビー関連商品の計画的な出荷制限が重なり、一時的に控えめな売上推移となりました。

現在は、新商品投入に向けた流通在庫の適正化を戦略的に進めており、次期シリーズ展開による需要喚起を通じ、業績の再加速に邁進してまいります。

●直近のPR/IR情報



「eラーニングアワードフォーラム シーズンズ 2026年春」

当社の幼児向けデジタル知育サービス「さわるTECH」は触覚技術を活用し、幼児にデジタル体験を提供する点が評価され、既に複数のアワードを受賞しており、このたびBABY TECH AWARDSも受賞することとなりました。

あわせて先日の日本e-Learning大賞を契機に3月5日開催のeラーニングアワードフォーラムに当該商品の企画開発リーダーが登壇し、幼児期におけるデジタルとアナログのハイブリットの重要性について講演いたします。

昨年および昨年度、事業終了など抜本的な改革により収益改善を図りました。事業終了により確保したリソースを新事業開発チームに最も多く割り当てつつ、新事業をスムーズに、スピーディに創出する新たな仕組みづくりを、中期的な視点に立ち実施しています。直近ではパーパスのキーワード「子どもの好奇心」を軸に8つの新事業チームが進行しており、その「好奇心事業」第1弾が2025年春(2026年1月期)に、続いて第2弾を2025年10月24日(2026年1月期)にローンチしました。

一方、このローンチに向けて、当社の取り組みを広く認知していただくことが、商品ブランド育成に重要と考え、広報活動を積極的に行っております。

また、2022年より活動を開始した当社「ピープル赤ちゃん研究所」は当社のコアコンピタンスである「赤ちゃん観察視点」を社内外に伝えることを目的とした活動を展開しており、母親、父親向け「赤ちゃんをあげわうワークショップ」を主活動とし、地方自治体や教育機関とのコラボレーションも実施しております。

これら中期を見据えた施策を行いつつ、短期的な収益性改善策として、以下のような活動を継続的に進めてまいります。

- ①既存ロングセラー商品のリブランディングによる、販売数の底上げ
 - ・シリーズ内の新商品の発売キャンペーン
 - ・周年イベントの開催(2026年1月期: やりたい放題40周年、ピタゴラス33周年、お米のおもちや15周年)
- ②PR、IR活動にリソースを割き、情報発信力を強化

(ご参考)業績予想(2026年3月2日公表)

2027年1月期第1四半期業績予想(2026年1月21日～2026年4月20日)

	2027年1月期第1四半期 業績予想 (百万円)	前期比(%)
売上高	273	94.6
営業利益(△損失)	△89	—
経常利益(△損失)	△89	—
当四半期純利益(△損失)	△89	—